

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

西宮市立甲陵中学校（兵庫県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 Excelシートを活用した進捗管理と学習の見取り

＜考察＞

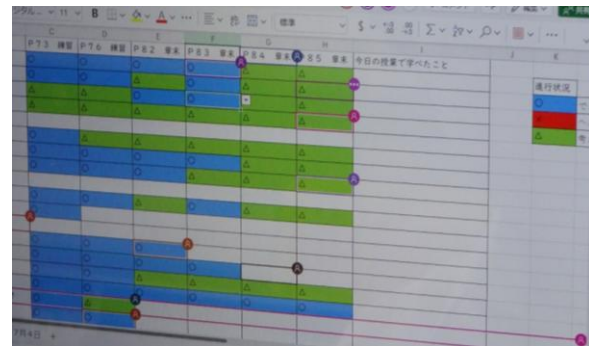
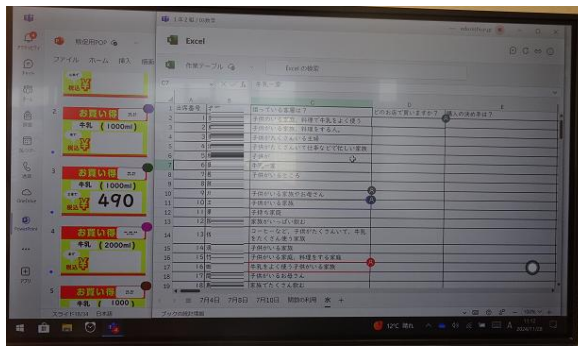
生徒が自らの学習状況を把握するために、それぞれの教科の特性を盛り込んだExcelのシート作りが進んだ。数学科では、思考の過程を文章表現して、その後、図式化・数式化する場合が見られた。また、単元や1時間の中での課題解決の進捗を共有して可視化することで誰と学ぶかを選択する材料になっていた。理科では実験の結果を共有することで、時間短縮になり、その時間を考察や振り返りに充てることができ、より深い内容について全体場で交流し、個人思考の時間を確保できていた。

学習の進度だけでなく、自己評価を可視化することで、より支援が必要な生徒に必要な支援が行き届くようになった。ただし、個人内の評価であるため、Excelで共有された理解度だけに頼ることなく、机間指導を含めて生徒の見取りもあわせて行った。

また、理解度を共有しているため、誰と何をどのように学ぶかの選択ができるようになった。適宜より良い学び方についての指導を行っていた。

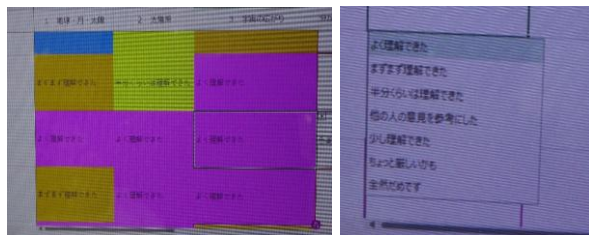
教科毎に教師の意図するポイントが明確になるようにExcelシートを工夫することで、今まで把握できなかった部分も可視化することができた。

思考の過程を共有して、課題の進捗も共有



Excelを共有して進捗を管理していく中で、教科や教員の意識したいポイントがシートの中に見えるようになっていく。

学習の理解度を共有して、協働の相手を自己選択



学習の理解度をExcelで共有をすることで協働する相手を自己選択した。学習の振り返りもプルダウンの項目を工夫して、単元に合わせた振り返りをする。

